

Q	A
市の見通しの甘さに不信感がある。中学校でも生徒数が過大規模化してしまうようなことはないのか。	御心配をおかけしてしまい、申し訳ないと思っています。 中学校においても、令和 4 年度、令和 5 年度と続けて推計をしており、人数の把握をしています。今後の傾向としまして黒内小学校が進学する学校として、守谷中学校は生徒数が多くなることが予想されるため、令和 4 年度に増築が完了しています。守谷中学校の現在の学級数は 15 ですが、教室数を 25 用意している状況です。今後、例えば御所ヶ丘小、郷州小に移動したお子さんでも、中学校は地元の守谷中学校をご希望される方もいらっしゃると思いますので、中学校の進学先の調査を行い、人数把握をしていきます。 仮に足りないということがわかりましたら、すぐに対応できる形で検討しています。具体的な対応策としては、守谷中学校内の使用していないプール施設を撤去し、そこへの増築を考えております。このため、校庭は潰さない形となります。
中学校を増やす予定はないのか。増やさない場合、黒内小と同じように 1,000 人以上を狭いところに詰め込むのか。	現時点では、4 中学校で対応できるという判断です。 中学校は 3 学年であるため、1,000 人以上になることはなく、校庭の面積は十分確保できるという見込みです。今後、推計をしっかり行い、対応していきたいと思っています。
資料にある、「遊ゆうタイム」とはなにか。	黒内小学校では通常の昼休みは、15 分単位で 3 部制（休み時間、掃除、スタディタイム）を取っています。 遊ゆうタイムとは、掃除と休みの時間を合体させることで、30 分間のロング昼休みとするもので、異学年交流等の活動を行っています。 黒内小に限っては、たくさんのお子さんがいますので、学年を絞り、高学年が中心となって実施しています。

バス停補助員は住民がボランティアで行うのか。それともシルバー人材やプロなどを市が雇うのか。	市の方で人員配置したいと考えております。
松並青葉地区の児童は放課後子ども教室の利用料が無料とのことだが、放課後子ども教室自体がまだ再開されていない。いつから再開されるのか。	昨年度まではコロナの影響もあり、休止していましたが、今年度は9月ごろに再開予定です。これが稼働すれば、来年、再来年と続いてまいります。
昨日の説明会で、1年度あたりバス2台で1,000万円という話があったと聞いたが、6年後には12台で予算は6,000万円という想定で合っているか。	昨日は、バス1台を年間運行させると1000万円以上という説明をさせていただきました。ですので、2台運行させると2倍の金額が想定されます。 特定地域選択制度については、バス以外にも必要経費があるため、それ以上の予算が必要であることを予定しています。 毎年度予算を確保し、対応していきたいと思っております。
1月から入学までの間に、実際にバスを運行して保護者に乗ってもらい、課題を把握してその対応をしていくということは予定していないのか。	バスルート等については、通常車両でしか検証していないため、バス事業者が決定した時点で検証する予定でしたが、ルート以外についても検証できるように検討していきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。
バス事業者はいつ決まるか。	実際に決まるのは、9月頃になります。
黒内小に行きたい場合は黒内小に行けるか。	その通りです。
6年先までの予算は確保されるのか。	財政当局に財政計画をお示しし、議会の承認を得て予算確保に努めたいと思っております。 予算の取り方として、債務負担行為として多年にわたって予算を保証する方法がありますが、今回は初年度ということもあり単年度でやらせていただき、予算確保に努めてまいりたいと思っております。 移動したお子さんが卒業するまではお約束させていただきます。
郷州小の場合、中学校はどこになるか。	郷州小学校は愛宕中学校になります。 通学距離としては3kmとなっているため、自転車通勤していただくことを想定しています。 市内全校自転車通学となっております。
小学校は他校に変更しても、中学校は守谷	松並青葉地区本来の指定校は守谷中学校と

中を選択することは可能か。	なっているため、希望されれば入学可能となっています。
仮に他校へ変更する児童がいない場合、（黒内小に対して）どのような対応になるか。	現在、移動していただける方が少ない場合は、児童数は最初にお示した推計のとおりになります。その場合、特別支援教室は定員 8 名となるため、普通教室を半分に分割して使用するなどしたら、対応できないことはないのですが、理科室等の特別教室や、子どもたちが自由に使用できる余裕教室が不足してしまいます。 そのため、特別教室を主とした仮設校舎（プレハブ教室）を、令和 7 年 6 月以降の完成を目指して設置予定です。 また、児童の運動スペース確保ということで、黒内小学校に隣接している中央黒内公園を利用し、休憩時間や低学年の体育で使えるように調整中です。 御理解、ご協力いただければと思います。
中央黒内公園の使い方に関する計画はあるか。また、いつから実施されるのか。	学校とも協議していますが、体育の時間は 1 クラス（35 人以下）の小規模での利用を検討しています。行間休みについても、学年ごと、さらにクラス別に分けて利用するという考えています。 今年度、調整や整備が整い次第、使用できるように対応します。
前回の説明会で、黒内小体育館の使い方の質問があったが、その件について進捗はあったか。	体力テスト等、報告〆切があるものなどについては、雨天時に（体育館ではなく）教室で長座体前屈を実施したりすることはありますが、基本的には体育館を有効利用し、教室での実施はないように対応していると、学校から報告を受けています。 （2 月の説明会時には）トイレに間に合わずに、粗相をしてしまった児童がいるという話もいただきましたが、校長先生から、そのようなことは聞いたことがないと報告を受けております。
黒内小の業間休みは校庭で遊ぶ日と教室で過ごす日に分かれているが、公園利用が可能になることで、今よりも外で遊ぶ日が増えるということか。	その通りです。 小規模にはなってしまいますが、公園を利用できることで、1 クラス程度ずつとなりますが、遊び場を少しでも確保することを

	目指しています。
放課後子ども教室は9月から再開予定とのことだが、市内全小学校か。また、対象は全学年か。	市内全小学校です。 対象学年は小学3年生までです。
学年を限定しているのはなぜか。人数の関係なのか。以前はどうだったのか。希望としては全学年対象としてほしい。	コロナ禍前の対象学年については、ここでは分からないため、後ほど担当課に確認いたします。 (担当課確認) コロナ禍前までは全学年対象でした。 学校の働き方改革に伴い、児童クラブが使用している部屋以外は午後4時30分以前に退室する必要があるため、放課後子ども教室の終了時刻を午後4時20分としました(以前は午後5時)。このため、高学年が活動できる時間が限られるため3年生までとしました。
早退の理由は体調不良が多いと思う。公共バスを利用して帰宅するのは、バスの本数的にも子どもの体調的にも非現実的だと思う。車がない場合はタクシー利用になることが想定されるが、費用負担などの対応はあるか。	現時点で、協議を進めているところでは関東鉄道の路線バスとモコバスの2つの方法ですが、児童の体調状況によってはタクシー利用も考えられますので、多方面の方法で対応を検討していきます。
御所ヶ丘小のアクティブラーニングは英語とのことだが、具体的にはどのような内容か。	市内全体で英語教育に力を入れています。御所ヶ丘小については、不要となったPC室を改装し、アクティブラーニング室としました。室内にはグリーンバック等を配置していますので、これを使用して英語で発信できるような計画を考えています。 郷州小では、プログラミング教育に力を入れて取り組んでいこうと考えています。
在校生が御所ヶ丘小や郷州小に変更した場合、学校になじむまで時間がかかる可能性がある。教室にいるのが辛いときなどにはどのような対応となるか。	御所ヶ丘小と郷州小には、フリースペースはありませんが、今年度から中学校区に一人ずつ、スクールソーシャルワーカーを増員しています。 保健室などの居心地の良い場所を準備し、そこに巡回しているスクールソーシャルワーカーが相談に乗るようなイメージです。 常駐のフリースペース相談員はいませんが、スクールソーシャルワーカーがその役割を担っていくと考えています。

スクールソーシャルワーカーは常駐か。	週に3回、巡回で相談に乗っています。 通常は、養護教諭が対応していますが、そこにスクールソーシャルワーカーが追加で対応することで、さらなるサポートをしていきたいと思っています。
フリースペースは増やしていかないのか。	要望はしていますが、今年度は増えない予定です。 現在は、例えば守谷中学区の拠点としては、大野小学校にフリースペースがあり、黒内小学校のお子さんはそちらには通うことができます。また、相談支援員も、学校を往来して対応できます。 (事後確認) 全中学校区に1校ずつ、フリースペースのある拠点小学校を設けており、学区内小学校の児童は希望に応じて(拠点校フリースペースに)通うことができます。中学校はすべての学校にフリースペースを設置しています。 守谷中学区拠点小：大野小学校 愛宕中学区拠点小：守谷小学校 御所中学区拠点小：大井沢小学校 けや中学校拠点小：高野小学校
添乗員はどのような人か。	バス事業者が用意する場合は、児童の対応に長けている人員を用意してもらえと考えています。 バス事業者ではなく市が用意することになった場合は、ファミリーサポートセンター等で児童対応の研修を受講していただいた上での配置を予定しています。
バス停補助員はどのような質の人材を配置するのか。	現在、守谷市では通学補助員を通学路に配置しており、年に1回警察の講習を受けて誘導方法について学んでいます。バス停補助員についても、同様の形で研修を受けて安全を確保できるように考えています。
郷州小の帰りのルートはバス停側につくように資料とは逆回りにしてほしい。	資料の誤りです。申し訳ございません。バス停側に停車できるようなルートで運行します。
指定席にする予定との話があったが、児童が座る席はすべて正規の席となるようなバ	補助席を使用すると添乗員が行き来できませんので、バスはすべて正規の席を使用で

スを確保してもらえるのか。	きるような形で確保していきます。
通学区域審議会とはなにか。	通学区域審議会条例で規定されている、教育委員会の諮問機関という位置づけです。小中学校の通学区域の適正化等を審議しております。構成員は学校長やPTA会長、地域の方々などで20名で構成されています。
(要望) 中学校の生徒数・学級数推移もホームページで見られるようにしてほしい。	市ホームページの「児童生徒数推計」のページで中学校分も公開していますが、今後、説明会等で紙ベースの資料等でも提供できるように検討していきます。
前回の説明会では3割の児童がスクールバス利用を想定していると聞いたが、97名のうちの3割ということで良いか。	初年度ということもあり、まずは3割の皆さんに移動いただくことを目標にしています。ただし、定員以上の移動希望者がいた場合でも対応する方向で検討したいと考えています。
黒内小のプレハブ設置場所は体育館の横の駐車場スペースとのことだが、先生方の駐車スペースはどうなるか。	以前にも体育館脇の駐車場スペースを別の用途で使ったことがあり、その際に教職員の駐車場は、もりりん中央（中央公民館）近くの市有地を利用しました。今回もそのようになる予定です。
新設について、今年度どのようなスケジュールで検討していくか。	今月下旬に企画部門、都市計画部門、のびのび子育て課等と情報共有をし、協議を進めていきます。いつまでにとというのはまだ申し上げられませんが、是非も含めて、早めに協議を進めていきたいと考えております。
学校を変更した場合、学校行事の際に車で行くことはできるのか。	学校行事の際は、保護者向けの臨時駐車場を確保するとともに、臨時バスの運行を予定しています。
引き渡し訓練はどのような方法になるか。徒歩で集合するようと言う学校からの案内があったが、大人は歩けるが、子どもが歩いて帰るのは難しい。	移動していただいた場合の引き渡し訓練については、学校と協議していきたいと思えます。貴重な御意見ありがとうございます。